

気持ちも新たに、新年スタート

新しい年を迎え、皆さまにおかれましてはそれぞれ目標などを立てて、よいスタートを切れたことと思います。学校で、子どもたちにお話を聞かせてもらっても、その子らしい目標やめあてを話してくれます。節目節目に、自分の進むべき道・進みたい道をはっきりとさせることは大切です。

学校では、令和5年度の学習のまとめをする3学期となりました。いよいよ寒い日が続いていますが、元気いっぱい頑張っています。



始業式 校長先生のお話し

今日は、令和6年、1月9日3学期の始業式です。あけましておめでとうございます。今日は、クイズ形式で校長先生の話をしていきます。これから漢字を見せます。分かった人は答えてみてください。もちろん低学年の子は習ってない漢字もあるので、一緒に勉強してくださいね。

画 なんと読むのでしょうか？正解は「が」です。

次の漢字です。

竜 そう今年の干支である。りゅう・たつと読みますね。

点 なんと読みますか。「てん」です。

つぎの漢字です。まだ習ってない字を示します。勘を働かせてなんと読むか答えてください。睛

この漢字は、何という字によく似ていますか。そうです。晴れる という字に似ていますよね。

さあ、最後の問題です。難しいぞー。画竜点睛 これを読める人はいますかね。

がりゅうてんせいと読みがちですが、がりょうてんせい と読みます。

全校のみんなで読んでみましょう。せーの！はい、ありがとう。

それではこれから 画竜点睛の意味を皆さんに説明します。

画は「描く」という意味です。

竜はまさしく「竜」のことです。

点は、点ずる つまり 「筆の先で点をかき」という意味です。

睛 は「瞳」という意味です。

ですから、なんとなく意味が分かってきますよね。

画竜点睛とは、竜を描いて睛(ひとみ)に墨を点ずること、最後の仕上げをすること。

もう一度 絵を使って説明します。

絵をここまで描いておいてから、最後に一番大切な目を書き込んで、最後の仕上げをすることです。

ここまで頑張って描いた。でも一番大事な目を書くことを忘れてしまった。

こういう失敗を 画竜点睛を欠く といいます。

欠く というのは、欠ける。それがないという意味です。



みなさんは、ここまで1学期、2学期と頑張ってきています。だからこそ、校長先生は、みんなに最後の最後まで気を抜かずに、一番大事な目を入れてほしいのです。それが今日から始まる3学期です。

竜の絵も、最後に瞳を書きこんだら、動き出して、天に昇ったという伝説があります。1年から5年生にとっての大事な目とは何でしょう。4月からひとつ学年が上がるための準備、3学期です。

さて、6年生にとっての大事な目とはなんですか。

6年生は、小学校最後の思い出に残る3学期そして卒業式にすること。そして、お世話になった人たち、そして友だちに感謝の気持ちを伝えてお別れすること。そして、春休みに中学生になる準備をすることです。

今日から始まる短い3学期、自分の竜に、素晴らしい瞳が入れられるよう、しっかりまともを頑張っていきましょう。おわります。

大谷選手寄贈のグローブ!



昨年末に大々的に報道されて話題となっていた、メジャーリーガー大谷翔平選手が全国の小学校に寄贈していた「野球しようぜ!」グローブが、とうとう屋代小学校にも届きました。



学年ごとに順番で、全校に回し始めました。せっかくですので、全員が手にしてみられるように考えています。上の写真は、さっそく1年生がキャッチボールで使用した時の様子です。